



# 園だより

文京区立第一幼稚園  
令和2年度7月号

URL <http://www.bunkyo-kyo.ed.jp/dai1-kg/>

## 新しい生活の中で育っていること

園長 田村 秀子

園庭の緑が色濃くなってきました。晴れた日には青空の下、砂場で水を使って遊んだり、アゲハ蝶を見つけて追いかけたりする、楽しそうな姿が見られます。

6月から始まった園での生活も約1か月がたち、初めてのお茶タイムやお弁当、避難訓練、屋上や園庭での鬼遊び、裸足になっての砂遊びなど、この1ヵ月で、園の集団生活ならではの新しい体験がたくさんありました。驚いたことは、時差登園のおかげで登園時間が遅れないようになったことです。6月中は9時から年長、9時10分から年中、9時20分から年少としたことで、「私たちは年長だから」と、年長児は9時15分にほぼ全員が揃い、一日の予定を見て動き始めるようになりました。素晴らしいことです。

### 遊びの中では・・・

5学級が、保育室、廊下、土の庭、緑の庭（舗装園庭）、屋上、2階テラスを使って分散して遊んでいます。時々、自分たちの作った場に友達が「入れて」と入りたがる時もあります。年長組の廊下で「だめだよ」という声が聞こえました。一人の子が「どうして」と聞くと、「だって大勢集まるとコロナになるって先生が言っていたから」という返事です。見ていた私が「そうだね。ここは狭いから大勢集まらない方がいいかな。別の場所でこういうの作る？」と聞くと、「うん。こういうの、自分でつくる！」と頼もしい返事です。段ボール板とペーパー芯、空き箱などを用意すると、自分で段ボール板に半分に切ったペーパー芯をテープでつけて、玉が転がるコースを作り始めました。いつの間にか新しい友達も仲間に入り、うまく転がるようにいろいろ工夫しています。互いの場を意識しながら自分のしたいことを追求しています。年少組や年中組も、自分たちのしたい遊びを見つけて遊べるようになってきました。先生や友達と共に、場の工夫をしています。

### お弁当では・・・

遊戯室に「しずか食堂」という名前をつけ、看板も作りました。子供たちは学級ごとにお弁当を食べに来て、静かに、集中して食べています。お弁当が始まったばかりの今の時期に、おしゃべりをしないで20分ほどで食べることができるかなと思いましたが、「目に見えないコロナウイルスが、大きな声でおしゃべりをしていると口に入ってしまうかもしれません」と話すと、静かに食べることを理解したようで、一生懸命に集中して食べるようになりました。よく噛むことは消化にもよく、あごの育ちや脳の働きの活性化、心の安定にもつながります。「たまには静かなのもいいね」という一言もありました。リラックスできるように、心が落ち着くピアノ曲や童謡の曲をかけています。例年ですと年長の3学期に、時間内で集中して食べることを意識させていきますが、今年度はすでに3歳児から5歳児まで、しっかり食べる習慣が身に付いてきています。

コロナ感染が収まらない中、様々な制約がありますが、子供たちの柔軟さやたくましさ、子供なりに状況を理解する力には感心します。大人も柔軟にこの状況でのメリットを見付け、充実した園生活につなげたいと思います。これから色水遊びやシャボン玉遊びなど、様々な夏の遊びを生き生きと楽しむ姿も見られることでしょうか。安全面に配慮しながら、各学年の実態に応じて環境を工夫し、思い切り遊ぶ中で、一人一人が自分の力を発揮できるようにしていきたいと思います。保護者・地域の皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。